令和５年度　東京体験学習

作成者　2年1組　永石英梨佳
2年7組　隅田芙果杜

JALでの学び

JAPAN AIRLINES

写真素材RailStationより転載

東京に着いてまず向かったのは、JALの整備工場です。飛行機は、国内外を移動するときに使われ、生活に欠かせないものです。

今回は現役のパイロットや営業の方、CAの方にお話をうかがい、航空機の運用に関する最新の知見や実際の整備の様子、JALの近年の取組について学びました。

航空機についているライトは、機体の衝突防止のため、遠くからでも機体の存在を確認できるようにするため、そしてパイロットが機体に問題がないことを確認し整備士に出発の合図を送るためにあることを知りました。

また、JALの企業理念は、お客様に最高のサービスを提供し、企業価値を高めて社会の進歩発展に貢献することであり、近年は気候変動への対応として、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする『カーボンニュートラル実現』に向けたGX戦略（環境保全と経済成長の同時実現）を行っていることがわかりました。

このような取り組みを通じて、私たちは安心安全に飛行機に乗ることができています。

最後に、JALで活躍されている本校OBの村田さん、井上さん、櫛野さんにお話をしていただきました。「時代によって求められていくことが変わっていく中、自分がどんな世の中にしたいか、どう貢献したいかを考えることが大切だ」という言葉が、自分の将来を考える上でとても印象に残りました。

グローバル化社会の中、これからのJALの歩みが楽しみです。

感想

日本を代表する航空会社の空気を肌で体感でき、その技術や心配りの細やかなこと、また人命を運ぶことがいかに重責であるかということについて、改めて考えさせられました。

（隅田芙果杜）

飛行機の工夫を目で見て感じることができ、とても貴重な体験となりました。航空機の開発、操縦、整備には、たくさんの人が関わっていることを知り、飛行機に対してさらに興味を持ちました。

（永石英梨佳）